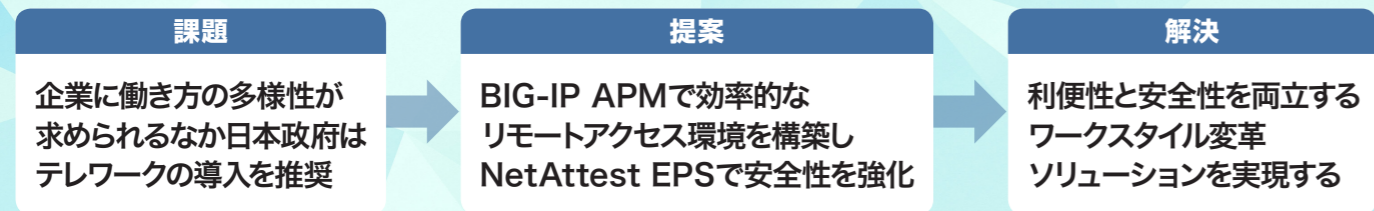


× NetAttest EPS × NetAttest EPS ap

ワークスタイル変革を推進する セキュアで利便性の高いソリューション

少子高齢化やグローバル化などの要因から、企業には「働き方の多様性」が求められている。これを受けて日本政府はテレワークの導入を推奨。優れたユーザービリティと高いセキュリティを兼ね備えたテレワークのソリューションが、ワークスタイルの変革を推進する。



テレワークでワークスタイル変革

現在の日本社会においては、企業側に「働き方の多様性＝ワークスタイル変革」が求められる傾向にある。その主な要因としては、「少子高齢化による働き手の減少」「女性のさらなる社会進出」「外国人労働者の増加」などが挙げられる。また、「海外企業に対する競争力の強化」や「海外時間にあわせた業務対応」などのグローバル化による問題が考えられるほか、「フレックスタイムやワークシェアの導入」「出産・育児・介護と仕事の両立」といった課題もあるだろう。

このような背景から、日本政府はワークスタイルの変革を推進する方法のひとつとして、ICTを活用した「テレワークの導入」を推奨。IT戦略の基本的な方針を示す

「世界最先端IT国家創造宣言」においては、2020年までに「テレワーク導入企業を2012年度比で3倍、週1日以上終日在宅で就業する雇用型在宅型テレワーカー数を全労働者数の10%以上にするとしている。

テレワークの使い勝手を考えたとき、「オフィス以外のどんな場所でも効率的かつ安全にストレスなく業務できる」ことは重要なポイントとなる。そのためには、外部からアクセスする場合でも社内のリソースやクラウドサービスをスムーズに利用できる高いユーザービリティと、盗聴やデータ改ざん、不正アクセスなどをしっかり防ぐ強固なセキュリティとを兼ね備えたリモートアクセス環境が必要だ。

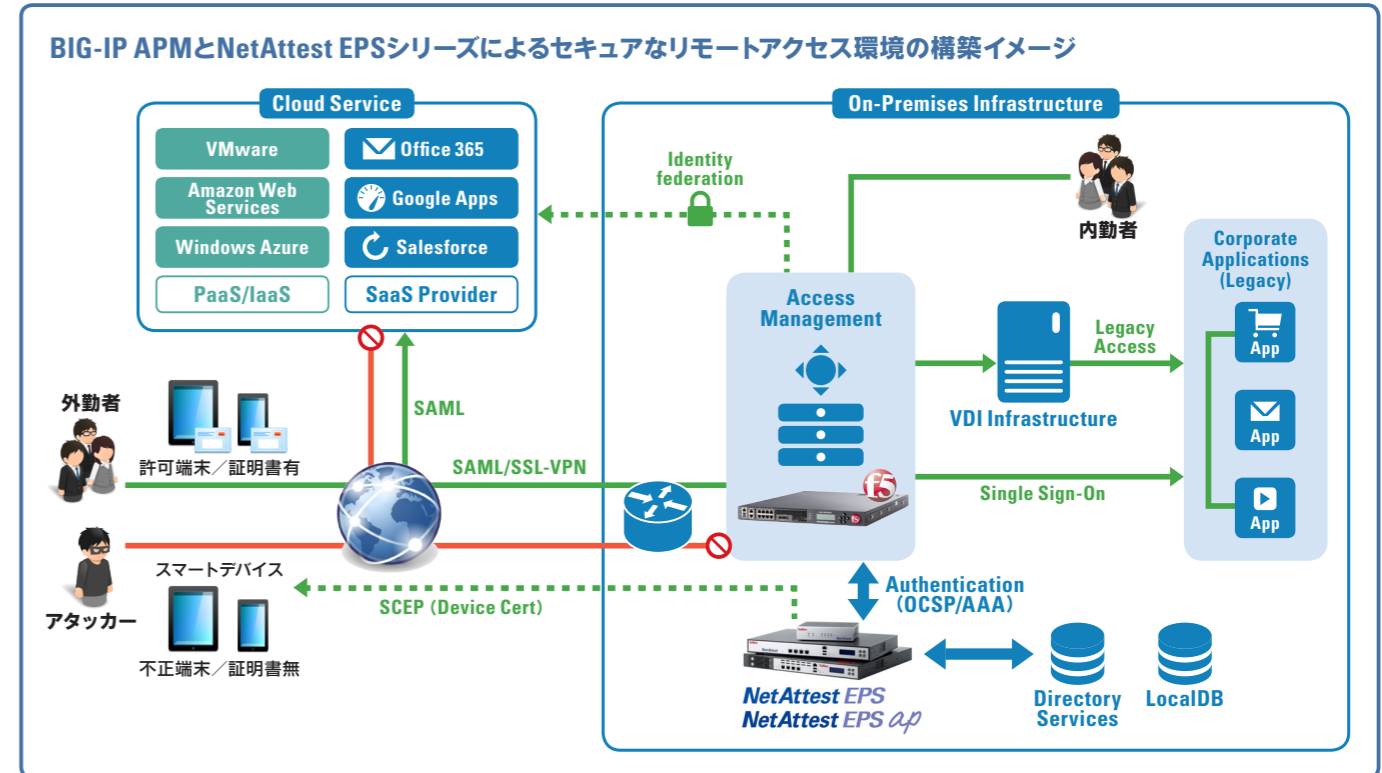
セキュリティやネットワークに加えて、業務システムの構築から運用、監視、保

守までを一括で提供する日立システムズは、「いつでも・どこでも・いつまでも・安全・安心に働く」をテーマとしてテレワークによるワークスタイル変革ソリューションを提案。リモートアクセスを統一してシングルサインオンも可能にする米F5 Networks社の「BIG-IP APM (Access Policy Manager)」と、多彩なネットワーク認証機能を持つソリトンシステムズの「NetAttest EPS」「NetAttest EPS-ap」を組み合わせることで、利便性と安全性を両立したソリューションを提案している。

スムーズな接続で使い勝手を向上

F5 Networksの「BIG-IP APM」は、SSL-VPNによる暗号化技術や認証を活用して、高いユーザービリティとセキュアな環境を実現するリモートアクセス装置。VPN専用機器やクライアントソフトがなくても、自宅や出先、営業拠点などからPCやスマートデバイスでセキュアな通信ができるため、導入や管理のしやすさに優れている。

ユーザービリティを高める大きな特徴は、社内のネットワーク環境で利用しているIDとクラウドサービスで利用してい



るIDを統合的に管理し、各アプリケーションへの効率的なアクセスを可能にするSAML (Security Assertion Markup Language) に対応。CitrixやVMware Viewなどの異なるVDI (デスクトップ仮想化) 環境やWindowsのリモートデスクトップへの一元的なログインや、ビジネスで利用しているOutlook Web AppやOffice 365、Google Apps、Salesforceへのシングルサインオンを可能にして連携性を高めている。また、Office 365との連携などにおいてはADFS (Active Directory Federation Services) が不要。さまざまなシステムやサービスで構築されているハイブリッドな環境でも、スムーズな認証で効率的なアクセスを可能にしている点は、使い勝手を考えるうえで大きなメリットとなる。

そのほか、マルチOSへの対応も魅力のひとつ。ユーザーにとって、WindowsやMac、Linux、スマートデバイスのAndroidやiOSなどの幅広いプラットフォームで利用できるのは大切なポイント。メーカーによっては最新バージョンへの対応が遅れたりするケースも多いが、

BIG-IP APMは最新バージョンにもスピーディに対応してくれる点が非常に心強い。

端末認証でさらなる安全性を

BIG-IP APMで構築された利便性の高いリモートアクセス環境を活用する際に、セキュリティを確保するため、許可された端末のみアクセスが可能になる仕組みを提供するのがソリトンシステムズの「NetAttest EPS」と「NetAttest EPS-ap」だ。

NetAttest EPSは、電子証明書によるデバイス認証やワンタイムパスワードの発行を可能にし、システムにアクセスする端末を厳重に管理できるネットワーク認証アプライアンス。通常のIDとパスワードによる利用者認証にデバイス認証をプラスすることで、許可されていないスマートフォンやPCなどからの接続を

ネットワークの入口でブロックする。NetAttest EPS-apは、マルチデバイスに対応した電子証明書の運用を支援するオプションとなる。マルチデバイス向けに、インターネット経由で安全に電子証明書を配付することが可能だ。

NetAttest EPSとNetAttest EPS-apを組み合わせれば、不正なユーザーによるアクセスを防止できるのはもちろんのこと、シャドーIT対策やBYOD対応など、昨今の企業インフラにまつわる課題に効果的な認証基盤も簡単に実現できる。また、運用面においても多忙な情報システム担当者をサポートする各種機能を搭載。例えば、認証済みの端末を紛失した場合には、電子証明書を失効するだけでOK。簡単な操作で、不正ユーザーによる被害の拡大を防止できる。

リモートアクセス装置
「BIG-IP APM (Access Policy Manager)」



ネットワーク認証アプライアンス
「NetAttest EPS」と
「NetAttest EPS-ap」

[お問い合わせ先]

株式会社 日立システムズ

URL: <http://www.hitachi-systems.com>
電話: 0120-346-401 受付時間: 9:00~17:00(土、日、祝日は除く)